

直播栽培に希望膨らむ水田の大区画化

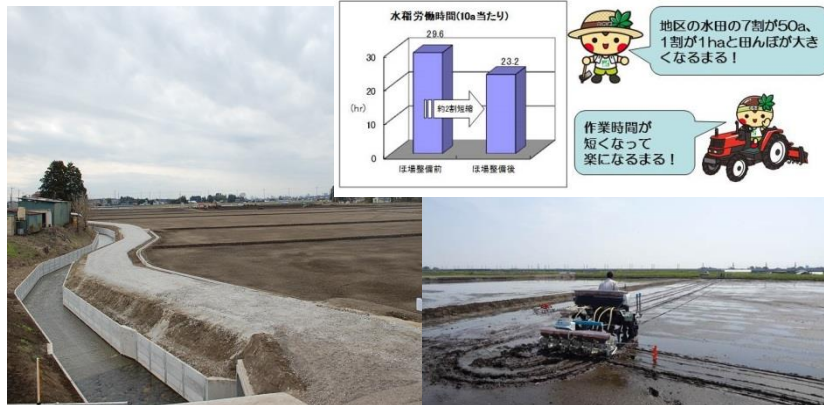
～農地整備事業(経営体育成型) 下田原北部地区(宇都宮市下田原町)～

[概要]

本地区は宇都宮市中心部から北へ約8kmに位置し、地区西側の一級河川山田川と東側の宝井団地の間に広がる水田地帯です。

現況の区画は10a～20a程度で道路は狭く、水路は用排兼用の土水路で、担い手が受け手となることができず、経営規模の拡大が困難な状況です。

このような中、ほ場の大区画化(標準区画50a)、用排水路のコンクリート装工、農道の整備による農作業の省力化、水管理の省力化を促進します。



整備後は直播にも挑む

[事業内容]

- 受益面積：113ha(水田112ha 畑1ha)
- 工期：H24～R3
- 事業内容：区画整理工A=113ha
道路工A=15.1km、用排水路工L=38.4km
- 総事業費：18億円
- 作付作物：水稲、飼料用米、大豆、いちご、にら、なす、梨、二条大麦、小麦

問い合わせ先 農地整備課:028-623-2364
河内農業振興事務所:028-626-3097

[整備状況]

面工事实施時



[受益者の声]



(下田原北部土地改良区 齋藤理事長)

「曲り田の すがたなつかし 八条植」

水管理は楽になり、作業もはかどるようになりました。しかし、縄文以来営々と続いてきた米の増産は終焉を迎えて久しいです。21世紀の農業のイノベーションの基礎は今できつつあります。後は農業を営む側の創意と精神により結果は導き出されるでしょう。

[地区解説図]

